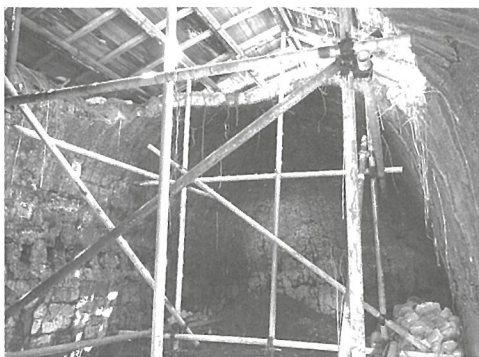


平佐西地区コミュニティ協議会は住民の自治組織であり、地域の歴史文化を継承することを当面の最重要事項と決め、地域に途絶えた「平佐焼」の窯跡群の保存、活用に取り組んでいます。

歴史遺産を守ってきた住民の遺志を継ぎ、活動を開始したのが令和元年度。5か年計画で取り組み、各事業を進めています。清掃や駐車場整備等の環境整備、歴史さんぽ、発掘調査報告会等のイベント実施まで住民が手弁当で協力し、今後、持続できる活動体制を確立し、将来に残す地元の歴史遺産とすることを目指しています。

平佐西地区コミュニティ協議会は、薩摩川内市平佐西地区にある住民自治組織等の協議会で、地区内の総合的な住民活動を取りまとめて各種事業を実施しています。



老朽化している平佐焼の窯内部（現窯）

まちむら発見②

地域の宝、平佐焼窯跡群の保存継承

鹿児島県薩摩川内市 平佐西地区コミュニティ協議会



地区コミュニティ協議会で現場の視察 故榎木崎登氏が同行

薩摩川内市平佐西地区には江戸期から昭和まで地域の産業として窯業があり、その後途絶えてしまいましたが、その痕跡を残した平佐焼窯跡群があり、八つの窯跡が存在しています。

市指定文化財「平佐焼現窯」の最後の守り人として窯跡の保存に取り組まれた榎木崎登氏の要請により、地域での活動を計画したのが令和元年度。その「平佐焼現窯」は「平佐焼窯跡群」の中で、唯一の市指定文化財ですが、老朽化がひどく、天井が落ちており、他の史跡はそれにも増して対策をしていない状況です。

同氏は高齢と体調不良により、個人では今後守れないと、われわれ地区コミュニティ協議会に、地域住民による窯跡の保存継承を切望され、役員等関係者で現地を視察しました。

役員一同は視察の結果、その貴重さと、そのままでは消滅していくことを知り、全ての窯跡を対象として、地域で保存活動に取り組むことに決定しました。その後同氏は死去。

まず、保存継承活動を地域で取り組むべき令和5年度までの5ヶ年の地域振興計画の最重要項目に位置付け、次に、本事業は地域おこし協力隊制度を活用し進めることとし、隊員の配備を要望、令和2年度から地域文化遺産の保存、活用を使命とする地域おこし協力隊員が配備されました。

令和2年11月には歴史さんぽと称し、平佐焼窯跡群を含む旧跡巡りのイベントを実施、初めてながら地区内外から100名を超す参加者となりました。

その後、令和3年9月から10月にかけて「歴史遺産お守り隊養成講座」を開き、平佐の歴史の語り部となる歴史ガイドを養成しました。

あわせて窯跡の見学者や「歴史さんぽ」等のイベント時に利用できるよう、窯跡群のなかに駐車場を整備することとし、地元住民の提供による土地に役員と地元自治会の協力により、自力で整備することができました。その後、駐車場の一角に休憩所となる東屋を建設いたしました。

同時期に河川改修による道路の整備事業に伴い、八つの窯跡の一つ、「柚木崎窯」（ゆのきざきがま）の発掘調査が行われることになったため、同年11月に「第2回平佐西地区歴史さんぽ」で、発掘箇所を「平佐西歴史さんぽ」のコースに組み込み実施しました。その際、さんぽコースの歴史ガイドを「歴史遺産お守り隊」



平佐焼窯跡の歴史さんぽで説明する「歴史遺産お守り隊」



周辺環境整備のため、コミュニティ協議会員が駐車場整備

隊員が担当し、発掘現場の見学は、鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センターの協力により、多くの市民が見学することができました。

明けて令和4年5月には市教委の後援と埋蔵文化財調査センターの協力により「速報 平佐焼窯跡群発掘調査報告会」を行い、県の焼き物に関する歴史での平佐焼の重要さと、平佐焼窯跡群の貴重さを世に知らしめることができました。同年11月には当協議会で最大の催しである「生涯学習フェア」において、「天草陶石がつなぐ縁々平佐焼と高浜焼」と名付けた歴史講演会を開催し、地区内でも平佐焼の認知度向上と、保存に向けて意識醸成に取り組んでいます。

また、一つの窯元の全容が現れ複数の焼窯、製品を作る作業所、生活する場、陶石を運び入れた波止場までそっくり出現したことは県内では他に例がなく、出土物も年代まで判明しつつあり、今後数年のうちに詳細が明らかにされることとなります。

これまでは地域文化財の保存活動への協力を訴えても、「文化財は同じようなものはあちこちにあり、全てを保存することはできない」など言われ、歯がゆい思いをしてきました。

しかしながら地域の歴史資産は地元にとってかけがえのないものであり、将来にわたり、この地に平佐焼があったことを誇りとし、残していくために、歴史的価値が評価されたことを力とし、「平佐焼窯跡群」の保存と活用に向け継続できる体制を作り上げていきます。

（平佐西地区コミュニティ協議会

コミュニティ主事 松下千秋）